

1 呑川柿の木坂支流緑道 リノベーション事業概要

緑道の特徴

呑川柿の木坂支流緑道は、それまで開渠()だった呑川にコンクリート構造物で蓋掛けをした上部に整備された人工地盤上の緑道で、延長は約2.1kmあり、昭和48年から順次供用を開始しました。

駒沢通り以北は、「雑木林」をイメージして整備されており、桜などの花木中心の駒沢通り以南とは異なる特色を持っています。コナラやアキニレ、アラカシなど雑木林風な樹木が多く採用され、所々に景石も配置されているなど、特徴的な景観となっています。

開渠(かいきょ)：地上部にある水路のうち、蓋などがされていないもの。⇨暗渠(あんきょ)

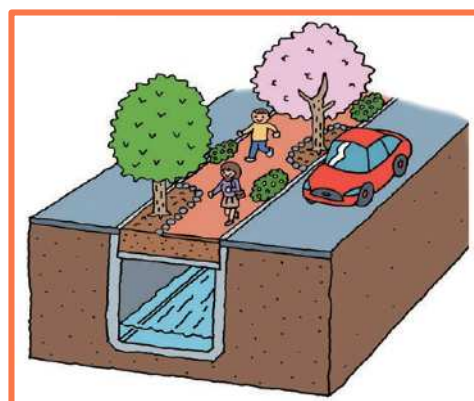
緑道の現状

駒沢通り以北は、供用開始から47年が経過し、

- ・樹木の根上がり等により園路に段差が生じている
- ・園路の幅が狭いなど、バリアフリーな整備になっていない
- ・降雨後に水が溜まる

など課題が生じており、歩行空間が悪化しています。

緑道の特徴を生かしつつ、バリアフリー化や舗装環境を改善するリノベーション工事を実施



整備区間図



今後の予定

令和8年
6月6日

あおぞら意見交換会
整備計画案の提示

8月

ニュースレター配布
整備計画のお知らせ

11月

リノベーション工事
工事期間中は緑道を通行できません

令和9年
3月

工事完了・再開園

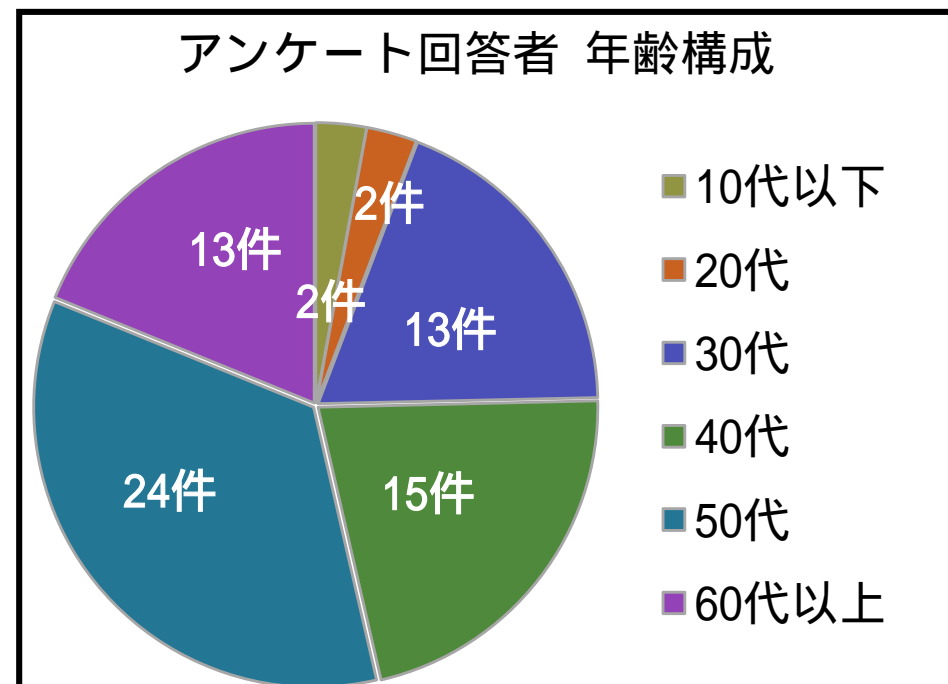
2 昨年度の意見聴取ふりかえり

アンケート調査

回答数
69件

実施期間
令和7年5月29日～6月12日
(14日間)

周知
緑道近隣への各戸投函
(約1,100戸)
緑道への現地掲示

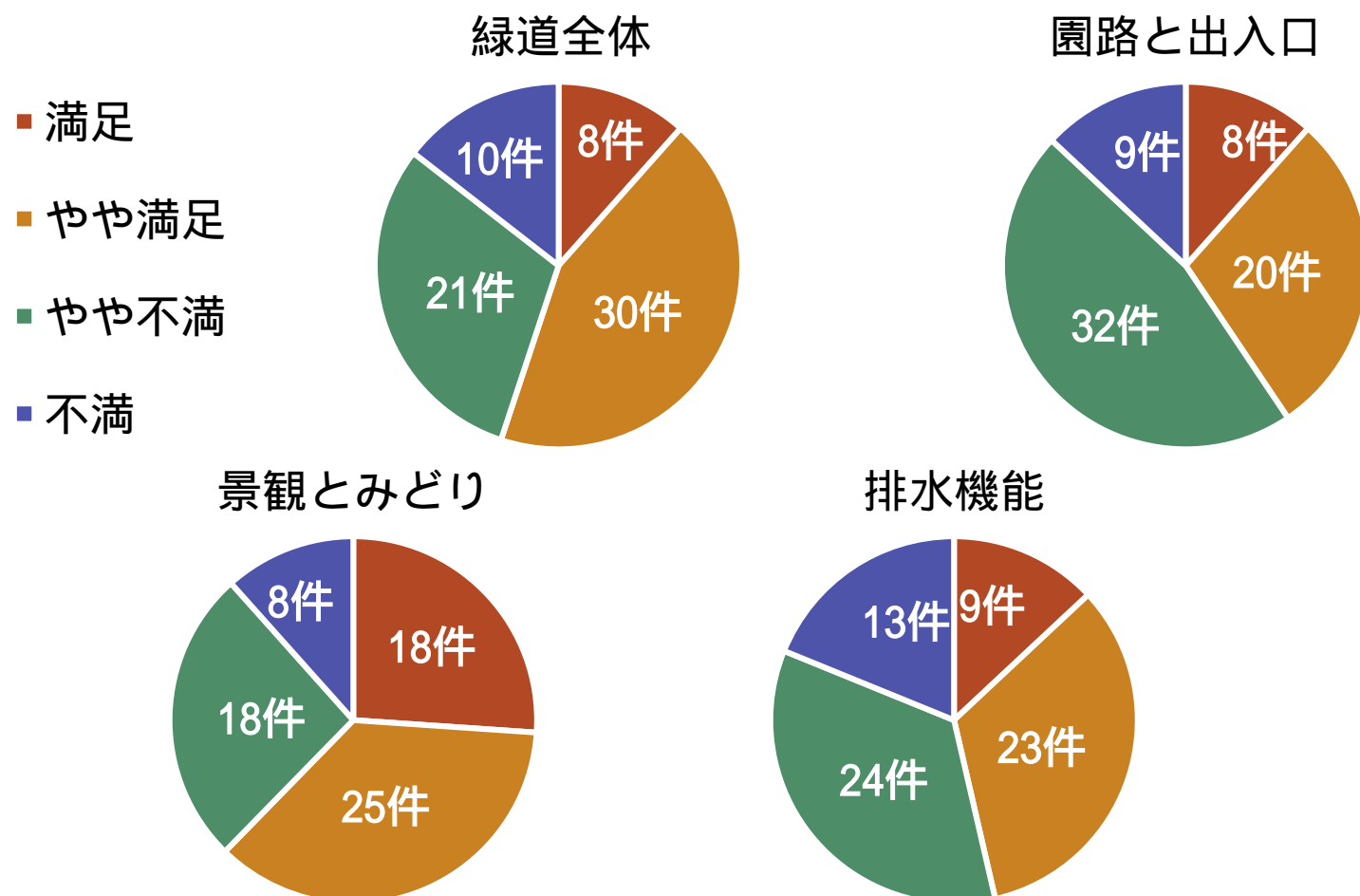


現地調査会

- 日程
実施日: 令和7年6月20日
- 参加者の主な意見
 - ・園路については、劣化が緩やかなアスファルト舗装が良いという意見と、土の舗装が良いという意見があった。
 - ・天然石の車止めを残してほしいとの意見が多かった。
 - ・桜を植えてほしいという意見が複数あった。
 - ・レインガーデンを希望する意見が数件あった。
 - ・ベンチを増やしてほしい。一人掛けベンチが欲しい。



○呑川柿の木坂支流緑道(駒沢通り以北)の満足度調査



まとめ

- ・園路の歩きづらさや排水の悪さは、利用者全体に感じられている。
- ・景観やみどりの保全を求める人が多い。
- ・サクラの新植を希望する声がある。
- ・ベンチの設置を求める声がある。
- ・舗装については、土とアスファルトに意見が分かれた。
- ・車止めなど、緑道全体に景観の統一感を求める声がある。
- ・樹木の生長で緑道内が暗く、中低木によって見通しが悪い。

3 共通整備イメージ

誰もが歩きやすい空間づくり（バリアフリー化）

園路

自然な雰囲気を残す土系の舗装を基本とします。つまづきの原因となる、園路に露出した根を除去します。



車止め

園路の幅を広げるため、自然石の車止めから、天然石風のポール型に更新します。自然石は、一部緑道のシンボルとしてスツールなどに活用します。（車止めの位置は、要相談ください）



出入口

通行の妨げになるものを取り除き、硬い舗装と点字ブロックを設置します。



小休憩

ひと休みできる場所を確保するため、自然石を活用した、ベンチ・スツールの設置を検討します。



みどりを育て、緑道の魅力を高める

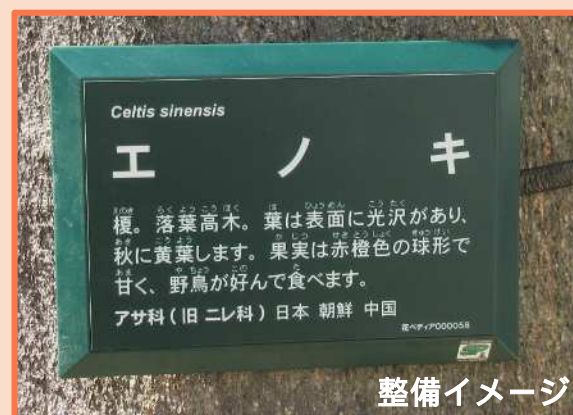
サクラの新植

サクラ再生実行計画に基づき、小型の桜などの花木を新植します。



樹名板

「雑木林」をテーマにした緑道に親しめるよう新設・更新します。



伐採と剪定

樹木診断の結果を参考に、剪定と倒木の恐れのある樹木の伐採を行います。伐採後は花の咲く低木や草花を植栽します。



雨の日の水たまり対策

集水枡

集水枡を設置し、排水性の向上を図ります。



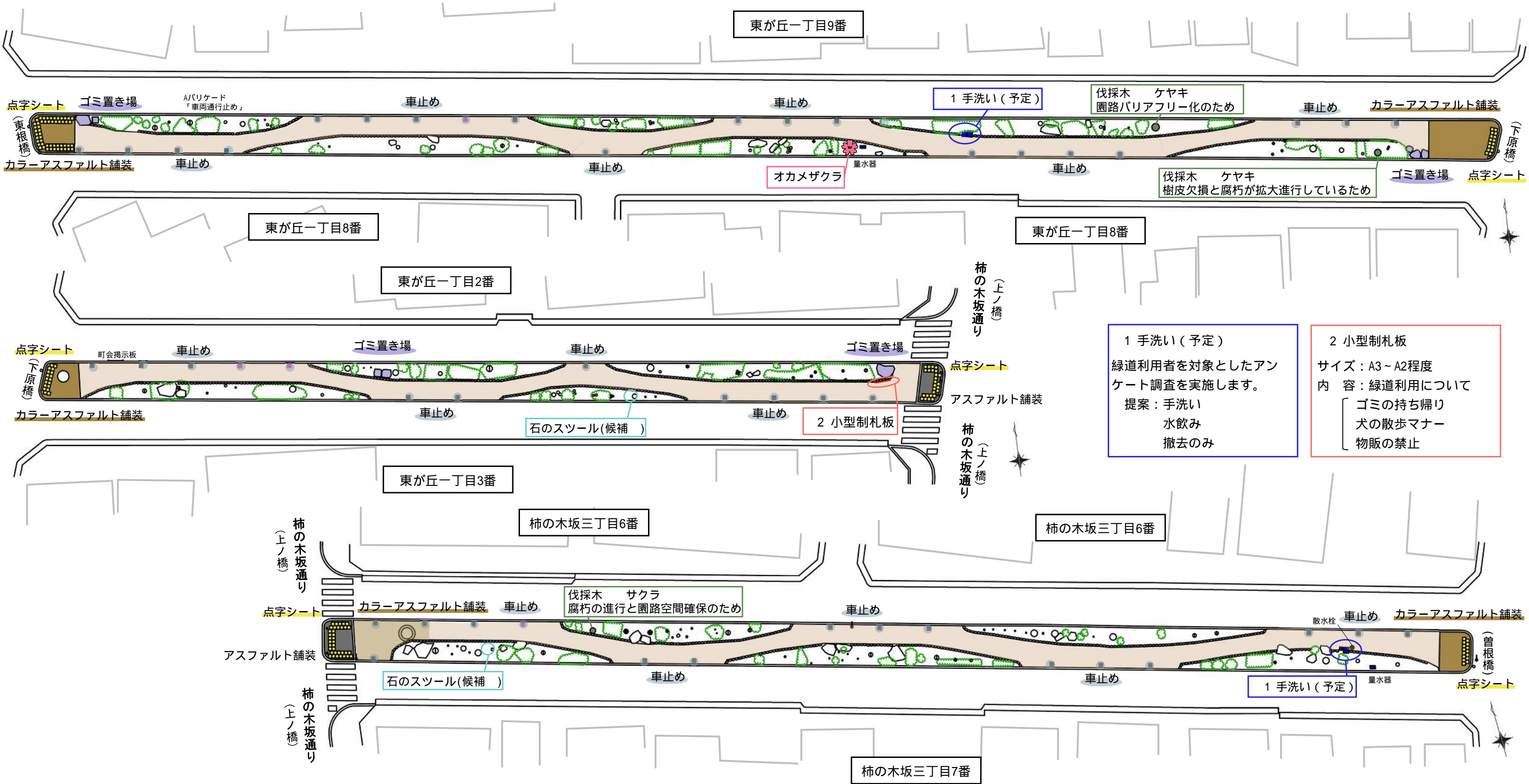
雨水を一時的にためて地面にしみこませるための植栽スペース（小さな庭）のこと

レインガーデン

雨水を植栽帯に誘導して、地中に浸透させます。



4 令和8年度区間 整備計画案



0 2 10m

担当者連絡先

〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15 目黒区 都市整備部 みどり土木政策課 施設整備係 ありはら ときた 在原・戸木田
 TEL 03-5722-9753 FAX 03-3792-2112 Email midoridoboku07@city.meguro.tokyo.jp

